

# 合併メリット、見える形に

オリエンタル酵母工業株式会社 代表取締役社長

中川真佐志さん

Masashi Nakagawa



静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

## シエアトップのイースト

オリエンタル酵母工業は、日本で最初にイーストの大量生産に成功した会社だ。1929年の創業で、会社としての歴史は古く、3年後には90周年を迎える。イーストの国内シエアトップをはじめ、クッキーなどの焼き菓子に使われるベーキングパウダー、中華麺に使うかんすいもそれぞれ高いシェアを占める、業界のリーディングカンパニー。「当社の製品は直接消

費者の口に入らないものばかりですが、間接的に多くの消費者の胃袋に貢献しています」。

主力事業は食品だが、酵母の研究技術を生かしバイオ事業にも積極的に取り組んできた。独自に研究開発した遺伝子組み換え酵素や診断薬原料、研究用試薬などの生産、販売といった先駆的事业を展開、海外事業の強化も図っている。社長就任後、世界で最も高い評価を得ている実験用ミニプラ、ゲッチェンミニプラ

## 生かせ「清水の特色」

静岡市についての印象を尋ねると、開口一番「清水市と合併したメリットがあまり見えてこないのが残念ですね」。企業のトップに立つだけに、合併効果、メリットには敏感だ。清水区には世界文化遺産の三保松原から富士山にかけての景観、清水次郎長など歴史遺産や有力地場産業、清水エスパルスなどがある。ちびまる子ちゃんの作者、さくらももこさんは少女時代を清水で過ごした。清水育ちの中川さんにとっては、これら清水を代表する特色をもっと生かし、盛り上げてほしいという思いもあるようだ。

茶どころ静岡を意識し、「お茶の歴史みたいな、例えば『家康から、そして静岡のお茶まで』みたいな、お茶を前面に出して、これに牧之原でのお茶の生産を助言したといわれる山岡鉄舟、鉄舟と親交があった次郎長を絡める形でアピールしたらどうでしょう」とも。

大学時代はラグビー部に所属。元ラグビーマンの故郷発展に馳せる思いは深い。

(文：長田義明、写真：中川さん提供)



### 経歴

静岡市清水区生まれ。県立清水東高校卒業。立教大学法学部卒業。1978年、オリエンタル酵母工業株式会社入社、海外事業室長、取締役バイオ事業本部長兼バイオ事業本部業務部長、常務取締役食品事業本部長、海外事業部担当を経て、2011年、代表取締役社長に就任。61歳。  
12年から株式会社日清製粉グループ本社取締役を兼ねる。  
<http://www.oyc.co.jp/>